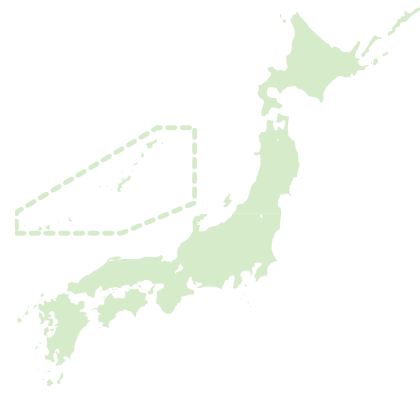


平成29年度

「言語聴覚の日」イベント報告



新潟県

新潟県言語聴覚士会は、例年県内各地で開催されている福祉関連イベントに数多く参画しています。今年も、言語聴覚週間の一環として、9月16、17日長岡市で開催された福祉と健康の祭典「すこやか・ともしびまつり2017」にブース出展し、市民に向け言語聴覚士の仕事や役割を大いにアピールしました。台風18号の接近という悪条件の中、県士会ブースには子供から高齢者まで両日で300人近くが訪れ、コミュニケーションや食支援の相談コーナー、脳トレ、お口の健康チェック体験など大盛況でした。「言語聴覚士を初めて知った」という方が多く、まだまだ知名度が低い職種だなと感じる一方「パンを喉に詰まらせそうになった。どうしたら良いか？」など実体験の相談もあり、私たち言語聴覚士をより身近な存在と感じてもらうためには、医療や介護だけでなく生活や健康に焦点を当てたアピールをしていく必要を感じました。現在、医療から介護そして生活支援へと言語聴覚士が関わる領域が広がっています。言語聴覚の日、週間の取り組みは、単に言語聴覚士の知名度を高めるだけでなく、そこに参加してくれる多くの会員にとって、自分たちの置かれている状況や求められる姿を直接県民より学びプロボノ意識を育てる機会となるのではないのでしょうか。新潟県言語聴覚士会は、このように人材育成の観点からも積極的に地域啓発活動に取り組んでいきたいと考えています。

新潟県言語聴覚士会
広報部部长 伊藤 綾子

